

事業部（文化事業）総括

文化事業／総括

平成 23 年度主催事業として、古典芸能 5、クラシック 11、音楽 9、演劇 5、映画 16、美術 3、アウトリーチ 18、その他事業 9、合計 76 事業を実施した。

本年度の特筆すべき取り組みは、「いきいき出前コンサート」である。第一期指定管理期間より取り組んできた「参加型・育成（普及）型事業重視」の方向性に沿って実施してきたアウトリーチを、質、量ともに見直し、「いきいき出前コンサート」という事業名称でスタートさせた。本年度の具体的な内容は、九州交響楽団の団員による弦楽四重奏で 2 日間 4 か所、九州管楽合奏団の金管パートメンバーで 9 日間 14 か所を実施し、2,634 人の入場者数となった。

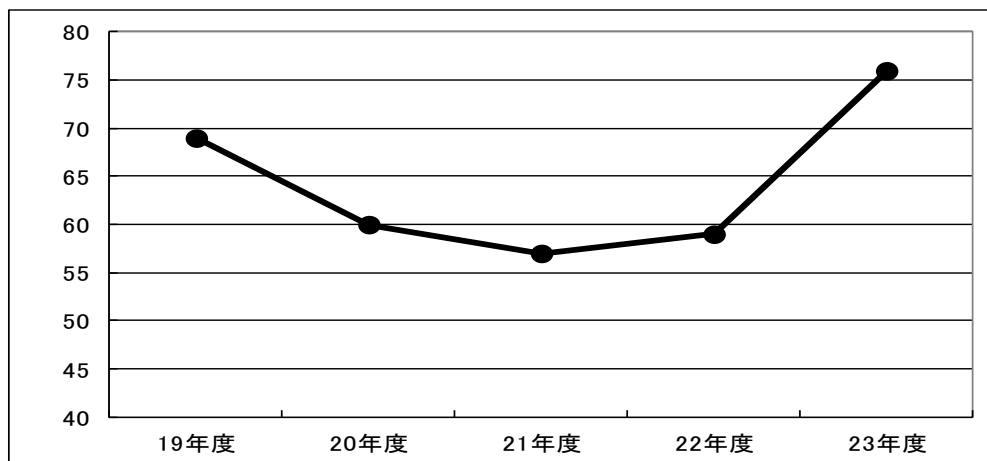
鑑賞型事業についても、アウトリーチや音楽講座を事前に実施した『九州交響楽団 宗像公演』や九州大学の学生と企画段階から取り組んだ『九州大学HMEむなかたの音』など工夫を凝らした事業を実施した。

また、「宗像市文化芸術のまちづくり 10 年ビジョン」の取り組みについても、「小学 4 年生芸術鑑賞モデル事業」を皮切りにスタートさせた。事業本数は、アウトリーチの本数が急増したため 76 本と大幅増となった。入場者数は、54,110 人となり、前年比 100.6%となった。

[事業本数・ジャンル別]

(単位：本)

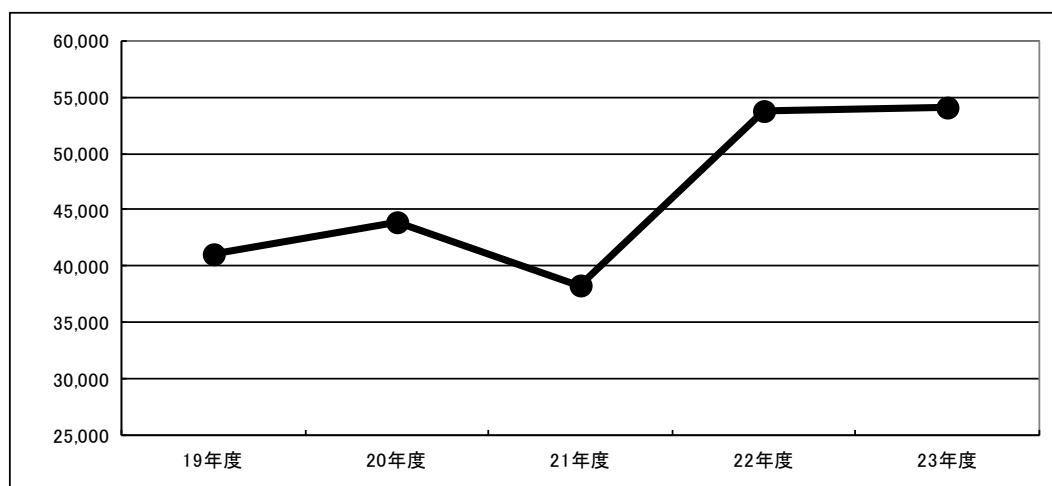
| 事業ジャンル | 19 年度 | 20 年度 | 21 年度 | 22 年度 | 23 年度 |
|-------------|--------|-------|-------|--------|--------|
| 音楽(クラシック) | 7 | 7 | 8 | 9 | 11 |
| 音楽(クラシック以外) | 9 | 8 | 4 | 5 | 9 |
| 映画 | 20 | 15 | 18 | 13 | 16 |
| 演劇・古典芸能 | 9 | 9 | 13 | 9 | 10 |
| 美術 | 2 | 3 | 3 | 4 | 3 |
| アウトリーチ | 5 | 3 | 6 | 6 | 18 |
| その他 | 17 | 15 | 5 | 13 | 9 |
| 合計 | 69 | 60 | 57 | 59 | 76 |
| 対前年比 | 111.3% | 87.0% | 95.0% | 103.5% | 133.3% |



[入場者数]

(単位：人)

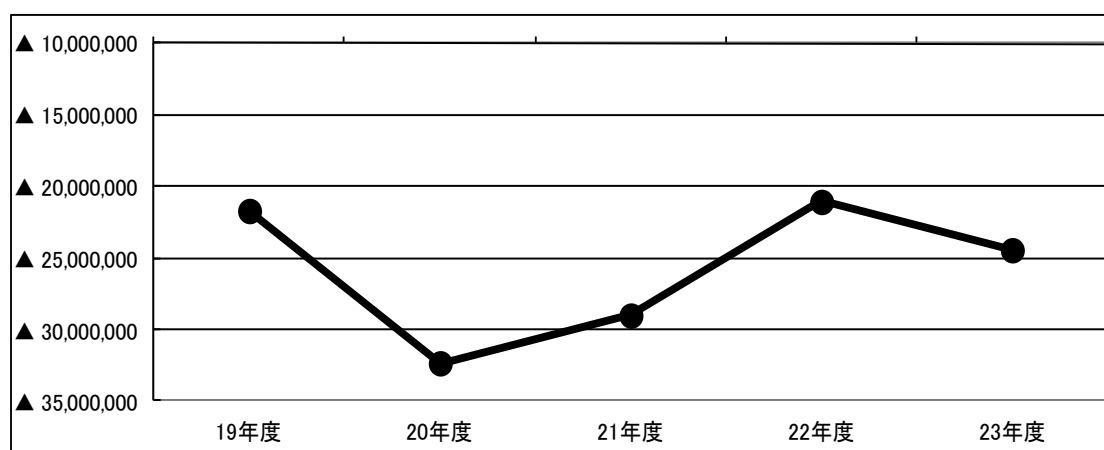
| | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 入場者数 | 41,070 | 43,917 | 38,295 | 53,798 | 54,110 |
| 対前年比 | 109.7% | 106.9% | 87.2% | 140.5% | 100.6% |
| 対19年度比 | — | 117.3% | 102.3% | 143.7% | 131.8% |



[収支状況]

(単位：円)

| | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 |
|------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 収入 | 58,970,004 | 64,926,712 | 52,163,911 | 48,751,007 | 53,139,055 |
| 支出 | 80,654,762 | 97,259,379 | 81,160,443 | 69,801,776 | 77,565,719 |
| 収支差額 | △ 21,684,758 | △ 32,332,667 | △ 28,996,532 | △ 21,050,769 | △ 24,426,664 |
| 対前年比 | 94.3% | 67.1% | 89.7% | 72.6% | 116.0% |



※収入＝文化事業費収入－文化事業共通収入－チケット販売手数料収入

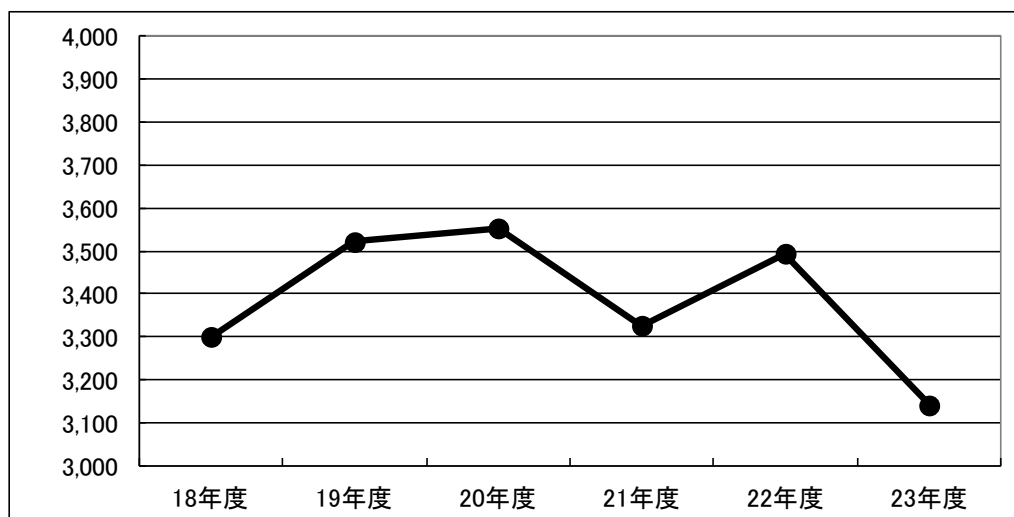
支出＝文化事業費支出－給与手当支出－賃金支出（当日アルバイト除く）文化事業共通支出

[ユリックス倶楽部（友の会）事業]

平成23年のユリックス倶楽部会員数は、3,140人となった。前年と比較し354人の減となった。

(単位：人)

| | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 |
|-------|--------|--------|-------|--------|-------|
| 会員数 | 3,521 | 3,553 | 3,327 | 3,494 | 3,140 |
| 対前年比 | 106.7% | 100.9% | 93.6% | 105.1% | 89.9% |
| 対前年人数 | 221 | 32 | △ 227 | 168 | △ 354 |



[ユリックス倶楽部入会特典について]

●ユリックス倶楽部特典 □年会費 継続 1,500円 新規 2,000円

☆一般発売よりも7日早くチケット購入。

☆託児サービスが無料。(通常1,000円)

☆ユリックス主催のチケット割引。2,500円(500円×5枚)分

☆倶楽部会員招待事業の無料チケット進呈。(※通常料金2,500円相当)

☆毎月、情報誌「ユリックス・サラダ」をお届け。(宗像・福津・宮若市以外)

☆アクアドーム、パットゴルフ、プラネタリウム、ゆ〜ゆ〜プールが割引料金で利用可。

☆貸出対象地区以外の方にも図書の出借。

☆宗像文化サークルの入会金500円引き。

主催事業・ジャンル別

(1) クラシック事業

『九州管楽合奏団定期演奏会』、『九州交響楽団宗像公演』、『フィルハーモニアカルテット・ベルリン』、『横山幸雄ピアノリサイタル』、『音楽の絵本』など11事業を実施した。『九州交響楽団宗像公演』は、2年連続の開催となり「音学会と音楽会」というサブタイトルが示す様に本公演の前に2回の音楽講座を実施した。講師に九州交響楽団の今村音楽主幹を迎え、本公演で演奏する曲目を中心とした解説を、ピアノや歌を交えながら行っていただいた。毎年好評をいただいている『音楽の絵本』は、6年連続の開催となり入場者数は1,023人で過去最高となった。『ピアノでつなぐ音楽会』は、自治総合センターの助成を受け、『横山幸雄レクチャーコンサート』、『横山幸雄ピアノリサイタル』という個々の事業を連携させて実施した。特に近隣に在住するコンクール上位入賞の経験のある学生に対するレクチャーコンサートは、他館にあまり例がなく非常に高い評価を受けた。

九州交響楽団 宗像公演



フィルハーモニアカルテット・ベルリン



音楽の絵本



横山幸雄リサイタル



(2) 音楽事業（クラシック以外）

『九管ポップスファミリーコンサート』、『小曽根真ピアノソロコンサート』、『ドリームバンドコンサート』など9事業を実施した。『九管ポップスファミリーコンサート』は、九管のパパ・ママ団員が企画の中心になり選曲・舞台構成を決定し、2回公演で817人の入場者となった。

九管ポップスファミリーコンサート 「アニメがいっぱい」



(3) 九州管楽合奏団

定期演奏会 『九州管楽合奏団定期演奏会』、『九管ポップスファミリーコンサート』、『九管ポップスコンサート』の3事業を実施した。

学校公演 『玄海小学校』、『自由ヶ丘小学校』、『赤間西小学校』、『自由ヶ丘中学校』の4校で実施した。

クリニック 10月22日、と3月31日の2回実施。受講者は288名。

いきいき出前コンサート

本年度より『いきいき出前コンサート』を実施し、保育園・幼稚園14か所にアウトリーチを実施した。

学校公演



クリニック（奏法講習会）



(4) いきいき出前コンサート

第一期指定管理期間より取り組んできた「参加型・育成（普及）型事業重視」の方向性に沿って実施してきたアウトリーチを、質、量ともに見直し、「いきいき出前コンサート」という事業名称でスタートさせた。

「ホールで生の音楽を聴きたいけど、なかなか足を運ぶことができない。」そんな方々へ、プロの演奏家が「その場所」まで出向き、「生の演奏」をお届けし、プロの演奏家による本物の音を通して、「生きる喜び」や「感動する心」、「豊かな感受性」を育むことを目的とする。

本年度は、九州交響楽団の団員による弦楽四重奏で4か所、九州管楽合奏団の金管パートで14か所合計18か所で実施した。

【 いきいき出前コンサート実施一覧表 】

| 日付 | 実施場所 | 入場者数 |
|-------|-----------------------|--------|
| 5/21 | 大島（中津宮） ・ 鎮国寺 | 178人 |
| 6/17 | アクアドーム ・ 老人介護保険施設よつづか | 278人 |
| 7/15 | 浄徳寺幼稚園 ・ 平等寺保育園 | 435人 |
| 9/15 | 東海大学付属自由ヶ丘幼稚園 | 237人 |
| 9/30 | ひかり幼稚園 ・ 第二赤間保育園 | 240人 |
| 10/4 | 赤間保育園 | 180人 |
| 10/21 | 日の里西保育園 ・ 恵愛保育園 | 256人 |
| 11/18 | 福教大附属幼稚園 ・ 野ばら第二保育園 | 265人 |
| 11/19 | 東郷信愛幼稚園 | 220人 |
| 1/20 | 西海保育園 ・ 野ばら保育園 | 215人 |
| 1/31 | 日の里東保育園 | 130人 |
| | 合計 | 2,634人 |

幼稚園・保育園でのいきいき出前コンサート



(5) 映画事業

16 作品を上映し、総入場者数 8,331 人となった。1 作品当たりの入場者数は 521 人で前年に対し、51 人の減となった。要因は、例年 1,000 人を超える作品（前年は 2 本）があるが、最高入場者数は 778 人とどまった事にある。

| | 事業本数 | 入場者数 | 1 作品当り入場者数 |
|--------|------|--------|------------|
| 平成22年度 | 13本 | 7,440人 | 572人 |
| 平成23年度 | 16本 | 8,331人 | 521人 |
| 前年差異 | +3本 | + 891人 | -51人 |

●映画事業入場者ベスト3

| | | |
|----|----------------------|------|
| 1位 | 『おまえうまそうだな』(8月21日) | 778人 |
| 2位 | 『ツレがうつになりまして』(2月23日) | 762人 |
| 3位 | 『武士の家計簿』(5月22日) | 713人 |

(6) 演劇・ミュージカル事業

『たいらじょう お花のハナツクの物語』、『つなぐ手、つむぐ夢 VOL.2』、『劇団飛行船ピノッキオ』など5本の事業を実施した。『つなぐ手、つむぐ夢 VOL.2』は、市内文化団体のリズムックダンスと福津市の津屋崎少年少女合唱団の交流事業として実施した。また、宗像市の協力依頼により急きょ決定した『ロシア少年少女舞踊団 カリンカ』をイベントホールで実施し、入場者数 1,357 人となった。

(6) 古典芸能

『ゆりつくす日曜百円寄席』、『キバレ! 東北 三遊亭歌之介チャリティ独演会』、『全国アマ落語名人会』、『うぐいす寄席』、『ユリックス倶楽部招待事業』の5事業を実施した。

『全国アマ落語名人会』は、平成21年に実施した企画の第2弾であり、今回はミリカローデン那珂川、ユメニティ直方、レスポワール久山と連携して実施した。『ゆりつくす日曜百円寄席』は、5年目を迎えて安定した入場者数となった。23年度入場者数は1,394人（前年度1,449人）。

(7) 美術事業

『郷土の美術家展 古本元治展』、『第67回県展宗像ブロック展』、『大きなクスの木の下で美術館展』の3事業を実施した。

『大きなクスの木の下で美術館展』（入場者数1,119人）は4年連続の開催となり、ボランティアスタッフが運営全般にわたり、大きな役割を果たしている。『県展宗像ブロック展』は949人の入場者数となった。

(8) 宗像市との連携事業

平成 22 年度より文化行政 4 事業を実施しており、各事業の入場者数は、『むなかた芸術祭』2,100 人、『むなかた吹奏楽祭』2,000 人、『むなかた文化祭』3,916 人、『むなかたこども芸術祭』869 人となった。

平成 23 年度より「宗像市文化芸術のまちづくり 10 年ビジョン」の具体的な取り組みとして、「小学 4 年生芸術鑑賞モデル事業」を行った。これは小学生に本物の文化芸術を鑑賞する機会を提供するものであり、初年度は『九州管楽合奏団（指揮：金聖響）』を実施した。九州管楽合奏団の団員が各学校を事前に訪問し、マナー等をレクチャーするなどの工夫を行った結果、非常に高い評価を受け、次年度も『九州管楽合奏団（指揮：金聖響）』を実施することとなった。

小学 4 年生芸術鑑賞モデル事業 楽団員による事前レクチャー



小学 4 年生芸術鑑賞モデル事業 九州管楽合奏団（指揮：金聖響）



(9) その他

『チルドレンズミュージアム』は 5 年連続の開催となり、入場者数 2,705 人と過去最高となる。

宗像消防署、トヨタ自動車九州など多くの団体の協力を頂いた。

また、東京・渋谷にある「こどもの城」主催、「おりがみカーニバル全国児童館おりがみ作品巡回展」を開催した。「むかしばなし」をテーマに全国の子どもたちが作成したおりがみ作品 31 点が全国 16 ヶ所を巡った。福岡からは日の里西小学校学童保育所「かぜのこくらぶ」が武丸正助さんをテーマに作成し出展した。

後援事業

地域における文化の振興と文化団体の育成を目指し、後援事業を積極的に行っている。

音楽・・・2本（第九コンサートむなかた、音楽の絆チャリティフェスティバル）

PR事業

■ユリックス・サラダ

情報誌『ユリックス・サラダ』の発行部数は、71,250部（宗像市広報 33,300部 福津市広報 21,400部 宮若市 12,400部 その他 4,150部）。

宗像地区への全戸配布のほか、宗像地区以外のユリックス倶楽部会員、マスコミ各社、JR九州鹿児島本線沿線駅、近隣文化施設などに送付した。『ユリックス・サラダ』は当館の情報発信の要であり、内容の精査と配布箇所の見直しを継続的に実施する。

■マスメディアの活用

主催事業の中で事業効率を上げるために必要と思われるイベントについては、TV局に名義共催を依頼し、スポットCMを流すなど販売促進につなげるようにした。

また、新聞広告、情報専門誌などに各公演の発売前に「プレス資料」を作成し、掲載を依頼するなど、活字媒体を有効に利用し、積極的に情報発信を行った。

■ポスター・チラシなど

ユリックス催し物の内容や開催時期をお知らせするポスター・チラシは、プレイガイドや近隣の文化施設に適宜配布し、主催事業のPRをした。また、チラシの配布については、主催事業はもちろんのこと、ユリックスでの貸館公演の際にパンフレットに折込みを依頼した。さらに、近隣の文化会館で同じジャンルの公演が開催される際も、出向いて主催者に同様な折込み依頼をするなどしており、これらは活動で一定の成果を得た。

■ダイレクトメール

ユリックスの主催事業の際に回収したアンケート情報を、事業ごとにデータ管理し、同じジャンルの公演の発売前にダイレクトメールで顧客に郵送し、販売促進に努めた。

■ホームページ

ユリックス情報をホームページに掲載し、適宜更新した。各施設の案内から利用料金、主催事業や貸館でのイベント情報、当館までの交通アクセスなど、さまざまな情報が満載されている。また、お客様からの声を聞く場所として『みなさんの掲示板』を設けていたが、よりの確に皆さまからのご要望にお応えするために、23年3月からご意見・ご要望をお受けする「ご意見箱」に変更した。